



2025年10月31日

各 位

会 社 名 大 和 工 業 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 小 林 幹 生
(コード番号: 5444 東証プライム)
問合せ先 常務執行役員 古 寺 良 和
(TEL 079-273-1061)

**2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想値と実績値との差異
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ**

2025年7月31日に公表いたしました2026年3月期（2025年4月1日～2026年3月31日）の第2四半期（中間期）の連結業績予想と本日公表の実績に差異が生じました。また、最近の業績動向を踏まえ、通期の連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績予想との差異（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	74,500	1,300	25,000	16,500	267.67
実績値(B)	76,180	1,994	27,928	19,133	310.82
増減額(B-A)	1,680	694	2,928	2,633	
増減率(%)	2.3	53.4	11.7	16.0	
(ご参考) 前期第2四半期（中間期）実績 (2025年3月期第2四半期（中間期）)	78,359	4,300	41,172	28,253	443.47

2. 2026年3月期通期連結業績予想の修正（2025年4月1日～2026年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	147,000	2,000	50,000	34,000	551.57
今回修正予想(B)	156,000	3,500	56,000	38,000	622.13
増減額(B-A)	9,000	1,500	6,000	4,000	
増減率(%)	6.1	75.0	12.0	11.8	
(ご参考) 前期実績 (2025年3月期)	168,268	11,493	54,402	31,833	502.51

3. 修正の理由

当中間連結会計期間の業績につきましては、前回予想に比べ、主に国内連結子会社(鉄鋼事業(日本)及び軌道用品事業)の業績が販売数量の増加等により増収増益となったことに加え、円安の継続により、為替差損計上額が減少したことにより、経常利益が増加しました。

通期連結業績予想につきましては、内需不振が続く中国による過剰生産された安価な鋼材輸出問題に終わりが見え、世界的な鋼材需要の停滞・市況低迷が続くものと思われます。当社グループの主要製品であるH形鋼等の土木・建築用鋼材の需要も全体的に盛り上がりに欠ける状況が続き、米国政府による関税強化の恩恵を受ける米国事業を除いては厳しい価格競争が続く見込みであります。各拠点において、中国材への対抗策を図り、引き続き販売数量の確保、鋼材マージンの維持及びコスト低減等に努めてまいります。

以上を踏まえ、主に連結子会社のタイ(SYS)及び持分法適用関連会社の米国(NYS)の業績が前回予想を上回る見込みであり、また円安が継続していることから、売上高を156,000百万円(前回予想比9,000百万円増)、営業利益を3,500百万円(前回予想比1,500百万円増)、経常利益を56,000百万円(前回予想比6,000百万円増)、親会社株主に帰属する当期純利益を38,000百万円(前回予想比4,000百万円増)に上方修正いたします。

(注) 業績予想につきましては、現時点で当社が入手可能な情報と合理的であると判断する一定の前提に基づいており、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と大きく異なる可能性があります。なお、2025年3月期において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2025年3月期第2四半期（中間期）に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させております。

以 上